

美山小学校 令和5年度 経営評価

今年度は、年度初めに全教職員および学校運営協議会で目指す学校像について協議し、この一年の取り組みを進めてきました。

「まずは、やってみる」を合い言葉に、『子どもたちが自分で考え行動する力』を育むことを目指して、60分プロジェクトや自由進度学習、「美山小学校をよりよくするためには?」というテーマで5,6年生が話し合った後期の委員会活動など、児童が主体者となって判断や活動ができる場面を増やしてきました。その成果(効果)が、児童アンケートや保護者アンケートからも見取ることができます。

一方、指導方針が変わったことについての十分な説明・周知の場がなかったことにより、保護者のみなさまに不安を抱かせてしまったことや、連携不足のご指摘や、新たな方向性(取り組み)に、まだ十分馴染めない児童については丁寧なフォローが必要ではないか、とのご指摘もいただいております。

次年度につきましては、いただいたご意見や職員で整理した課題を、少しでも改善し、美山に育つ子どもたちがこれからの社会で生き抜ける力を育て参りたいと思います。

また、コロナ禍が徐々に落ち着いてきた今年度、5年生の町内ホームステイをはじめとした美山学の様々な取り組みについて、地域・保護者のみなさまと一緒に進めることができました。心から感謝申し上げます。本校の特色とも言える美山学は、着実に子どもたちの美山への愛着心を育てていると感じています。

次年度については、運営協議会と教職員がさらに議論を深め、美山学の取り組みを充実させ、子どもたちの生きる力を育て参りたいと思います。

よろしくお願いいたします。

関係者(学校運営協議会)からの評価

- 60分PJや、児童の意見を学校づくりに取り入れるなど、新しい取り組みが増え、児童が生き生きと工夫しながら活発に活動できている。
- 子どもたちを中心にした活動が増え、子どもたちが考え行動する場面が増えた。また、地域の方が授業以外の場面で子どもたちとふれあう機会が増えたことが良かった。これも美山学の一つと捉えることができる。

- コロナ禍で活動しにくい時期を経て、今後は地域全体が子どもたちに関わっていけるための活動を考えることが必要。

ふるさとを愛し 夢や希望に向かって
自らを高める 美山っ子の育成



※R5年度当初に全教職員で協議し、それを元に作った経営図



1年生すすきのフクロウの作り



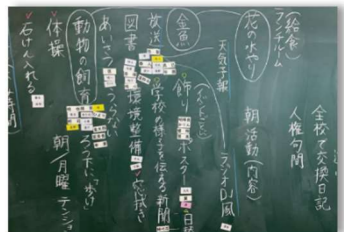
5年生町内ホームステイ

第3者(美山中学校)からの評価

- 教職員で目指す教育について話し合い、教育を進めている。
- 60分PJで運動機能、子どもとのつながりを強めている。
- 子どもたちと目指す学校について、意見を交わし共有を図っている。
- 不登校の子どもたちとの関わりを持ちながら柔軟な対応ができています。
- 個別最適な学びの実践として、自由進度学習に取り組み始めている。

- 不登校の子どもたちの社会的自立に向けた保護者連携。
- 体力向上にかかる取り組みの拡充。
- 職員による登校指導を終えたが登校の状況を見ると、交通安全面・生活面で不安が残る。
- 美山学の中学との連携・精選

- 60分プロジェクトや、タブレットの持ち帰りによる課題追求など、子どもたちも楽しみにしながら自主性や主体性を育む取組がされている。
 - 自由進度学習や、自分たちでつくる委員会活動など、子どもたちの意欲を引き出す取り組みが工夫されている。
 - 家庭での学習や活動について、自分で管理したり目標を決めて取り組んだりするなど主体的な行動が見られるようになった。
- ※保護者アンケート記述欄より



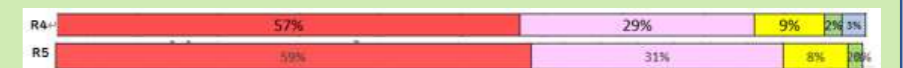
5,6年生で考えた後期委員会活動



60分PJで遊ぶ児童

児童アンケート⑬いじめやけんかがなく安心して学校へ行っている。

R4 86% ⇒ R5 90% (肯定的回答)



保護者アンケート③学校は、子どもたちが安心して楽しく学校生活が送れるように、生命や人権を大切に、いじめのない学校づくりに努めている。

R4 86% ⇒ R5 49% (肯定的「そう思う」回答)

